

出口のない袋小路——《週末》に、彼女を襲った恐ろしい出来事

バルセロナ・シトジェス国際映画祭
最優秀女優賞受賞
最優秀脚本賞受賞
特別批評家賞受賞

土曜日、私は愛に逢えるはずだった——



DEATH WEEKEND

週末

<カラー作品>

松竹・富士映画共同配給
ブレンダ・バッカロ/ドン・ストロード/チャック・シャマタ/監督・脚本ウィリアム・フリユエ/製作・音楽監修アイバン・リトマン

DEATH WEEKEND

ウィークエンド

★スタッフ★

製作……………アイバン・リトマン
 監督・脚本……………ウィリアム・フリユエ
 撮影……………ロバート・サッド
 音楽監修……………アイバン・リトマン

★キャスト★

ダイアン……………ブレンダ・バック
 レブ……………ドン・ストロード
 ハリー……………チャック・シャマタ
 フランキー……………ドン・グランベリー
 ラント……………リチャード・アイルズ
 スタンレー……………ケイル・エドワーズ
 スブラッグ……………エド・マクナマラ

*解説

週末——、誰も何かしらの期待に、心ときめかせて迎える土曜日から日曜日への愛とやすらぎのウィークエンド。ところがその楽しめるべき週末に、思いもよらない災いにまきこまれて、命の危険と恐怖に晒されたら……、そしてそれがとくに美しく非力な女の場合。

全米に鮮烈な衝撃を与えた映画「ウィークエンド」は、恐ろしい偶然に追いつめられたひとりの若い女が、そこから脱出するために、信じられないほどのバイオレンス性を噴出させるというショックキングなテーマを持つ話題の女性サスペンス・ロマン。

知り合ったばかりの男性に誘われるまま、孤独な心を少しでも癒やせたらと、人里はなれた男の別荘に、スポーツ・カーを走らせていた時、無謀なスピード・レースを挑んできた四人のならず者。このあまりにも不運な出会いが、平和である筈のウィークエンドを、血みどろの暴力、殺人によって無惨に破壊され、身震いするような劇的クライマックスを迎える。

人間は暴力を回避して生きることができるか!? というバイオレンスの名匠サム・ペキンパーの傑作「わらの犬」、そして社会問題にまで発展した《暴行「レイプ」事件と女性の報復を描いた「リップスティック」をはるかに凌ぐ凄惨衝撃の描写が話題となり、全米で大ヒット。超一級の娯楽映画のなかに、愛を求めるひたむきな女ごころを捉えて深い感動を残すラスト・シーンを造形した近來にない傑作となっている。

主演には、「真夜中のカーボーイ」「いくたびか美

しく燃え」(アカデミー助演女優賞候補)で若手ナンバー・ワン女優の名声を得たブレンダ・バック。 「レッド・バロン」「若者の詩」のドン・ストロードなど、ハリウッドを担うニュー・スターが多数出演。監督・脚本は、ヒッチコック、ペキンパーを次ぐ新しい世代の監督と絶賛され、11個の各国映画祭受賞を誇るカナダ出身の俊英ウィリアム・フリユエ、撮影はロバート・サッド、音楽監修はアイバン・リトマンが当たっている。

★恐怖とサスペンスにみちた見事な傑作!

(劇作家 梶原一騎)

★すごい映画でした!

もしあの恐怖が私たちに起こったら……

考えただけで恐くなりました!

(歌手 ピンク・レディー)

★破壊と暴力の中に投げ込まれた女の、凄まじい生きざまを描いた圧倒的な映画だ!

(ポスト紙)

★ペキンパーは終わった!

いま新しくW・フリユエの時代が始まる

(NBC TV)

★小倉競輪祭の決勝レースのような、スリリングあふれる映画で、女性だけのものつ不安を見事にした女性サスペンス映画だ!

(TBS・DJ 林美雄)

★突然に、不条理な形で襲ってくる暴力——

それに必死に立ち向かってゆく女の姿に感動した!

(作家 中田耕治)



新春第2弾衝撃のロードショー

新宿東急(200) 1981